

様式第二号の九 (第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

2025年6月19日

愛知県知事殿

届出者

住所 愛知県知多郡
氏名 美浜町大字河和字上前田18番地
加藤化学株式会社
代表取締役 加藤 憲
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0569-82-3311

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	加藤化学株式会社
事業場の所在地	愛知県知多郡美浜町大字河和字上前田18番地
事業の種類	09：食料品製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日

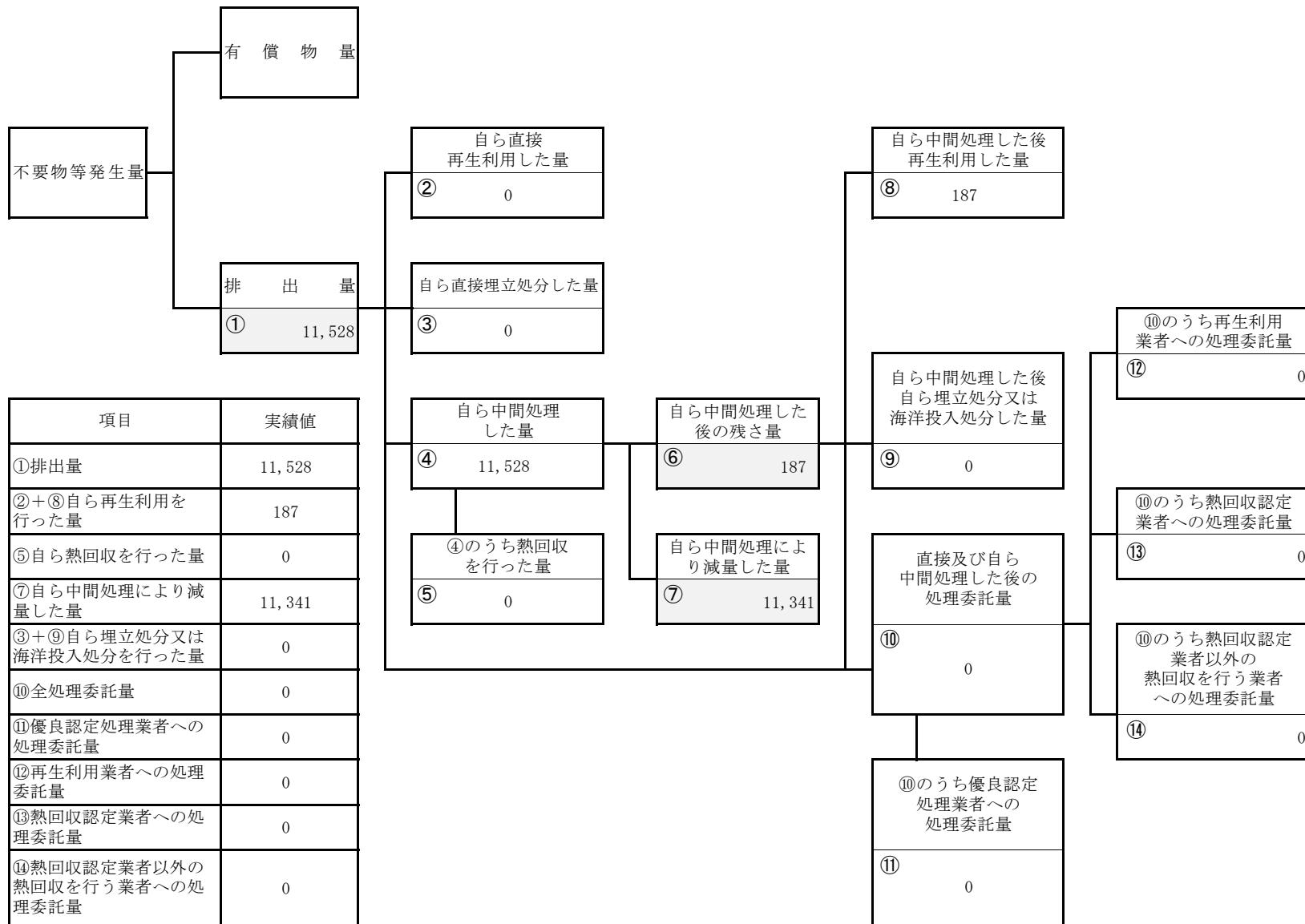
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	22,650 t	全処理委託量	1,650 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	375 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1,650 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	20,650 t	認定熱回収業者への処理委託量	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

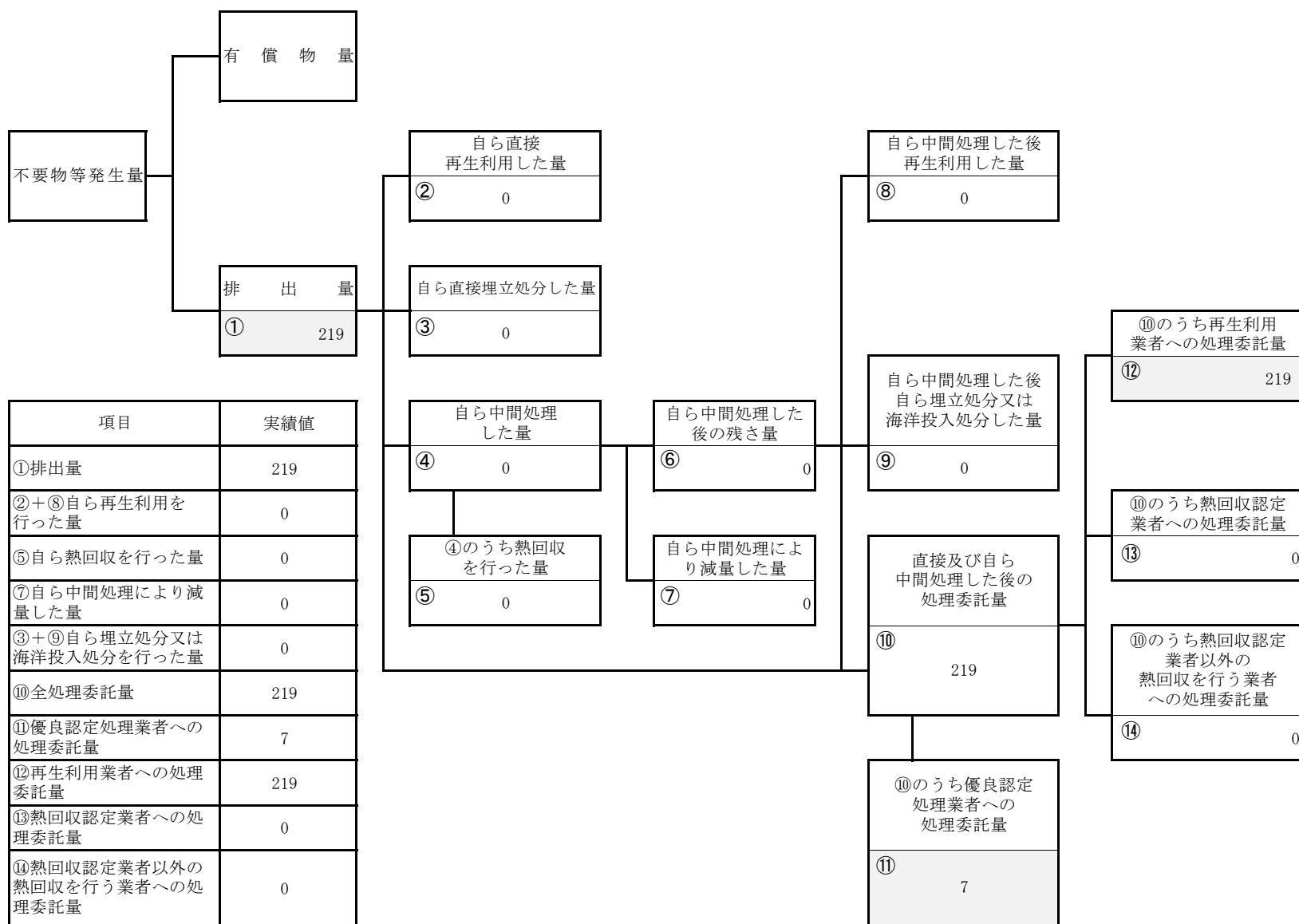
(産業廃棄物の種類:汚泥:排水処理工程)



(第2面)

計画の実施状況

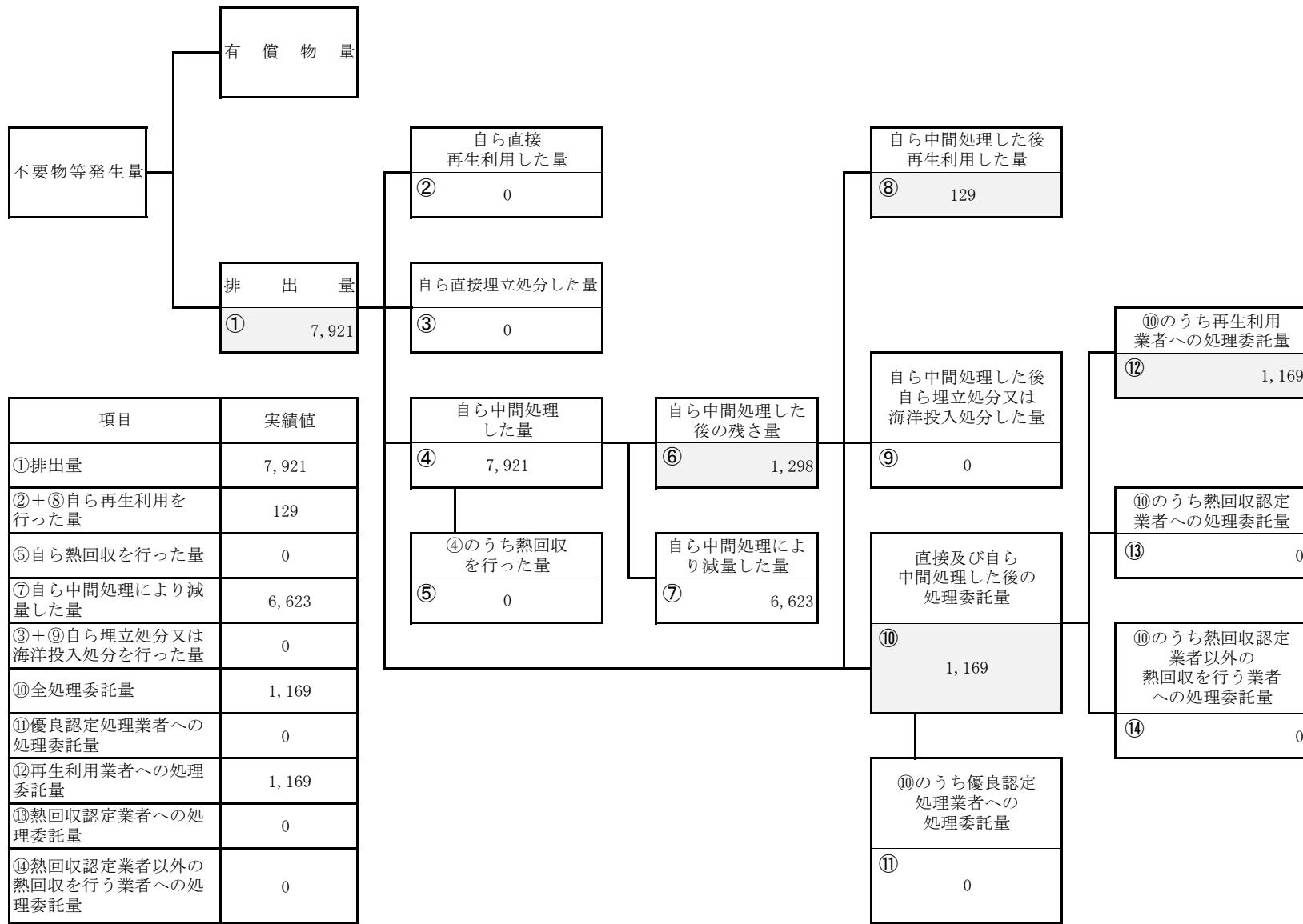
(産業廃棄物の種類：汚泥：清掃回収物)



(第2面)

計画の実施状況

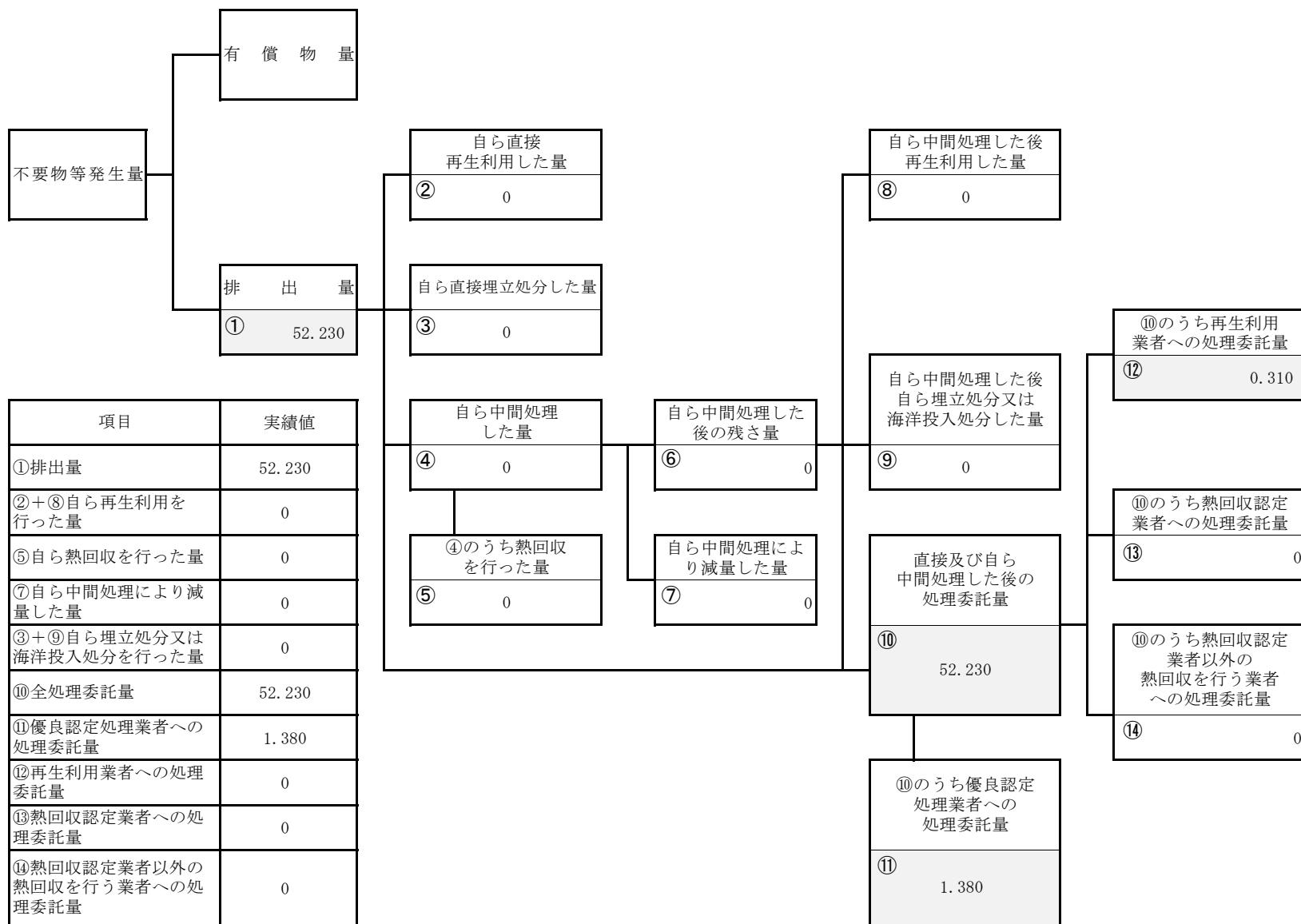
(産業廃棄物の種類:汚泥:ろ過助剤)



(第2面)

計画の実施状況

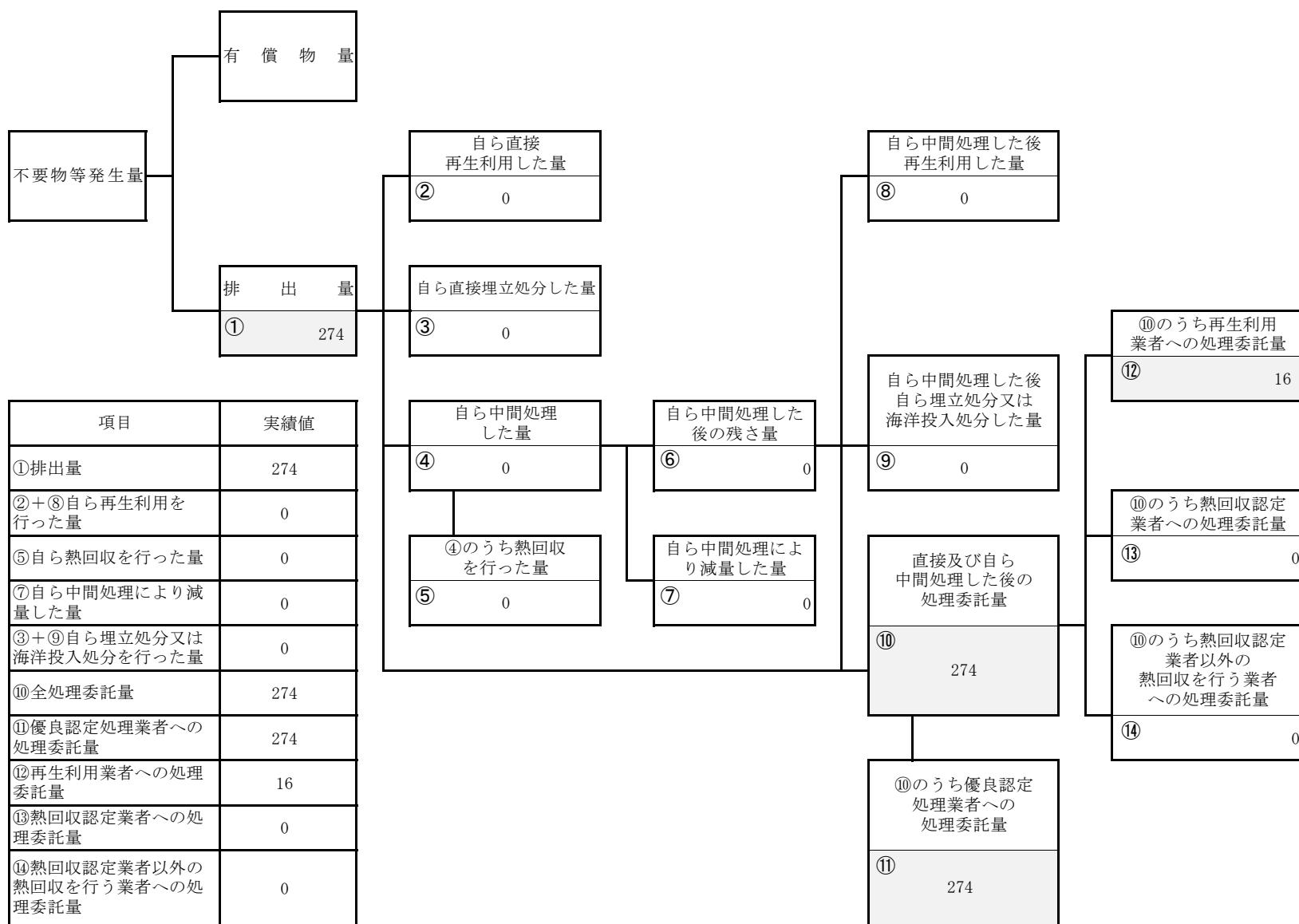
(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック: 樹脂製品)



(第2面)

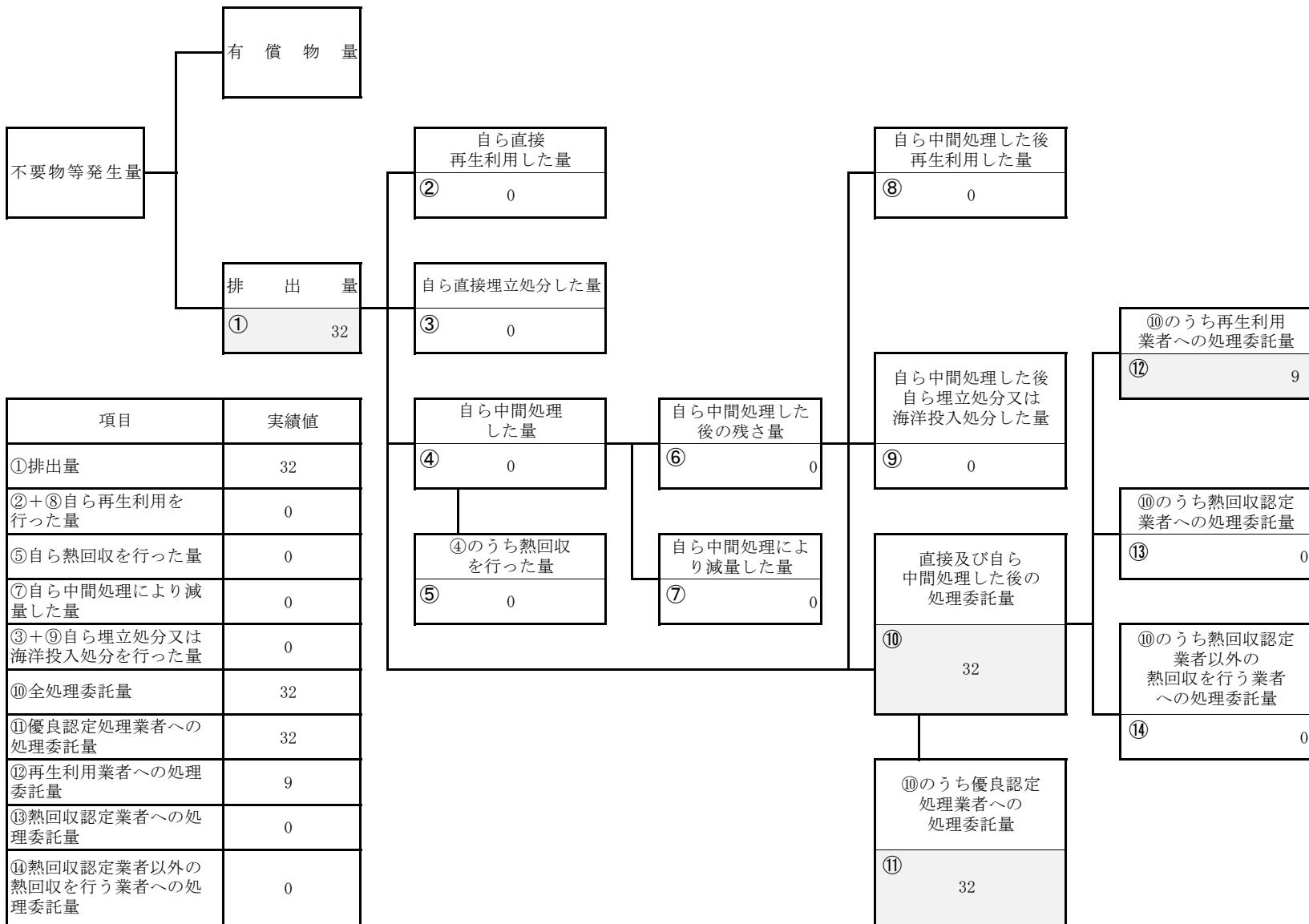
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック：イオン交換樹脂)



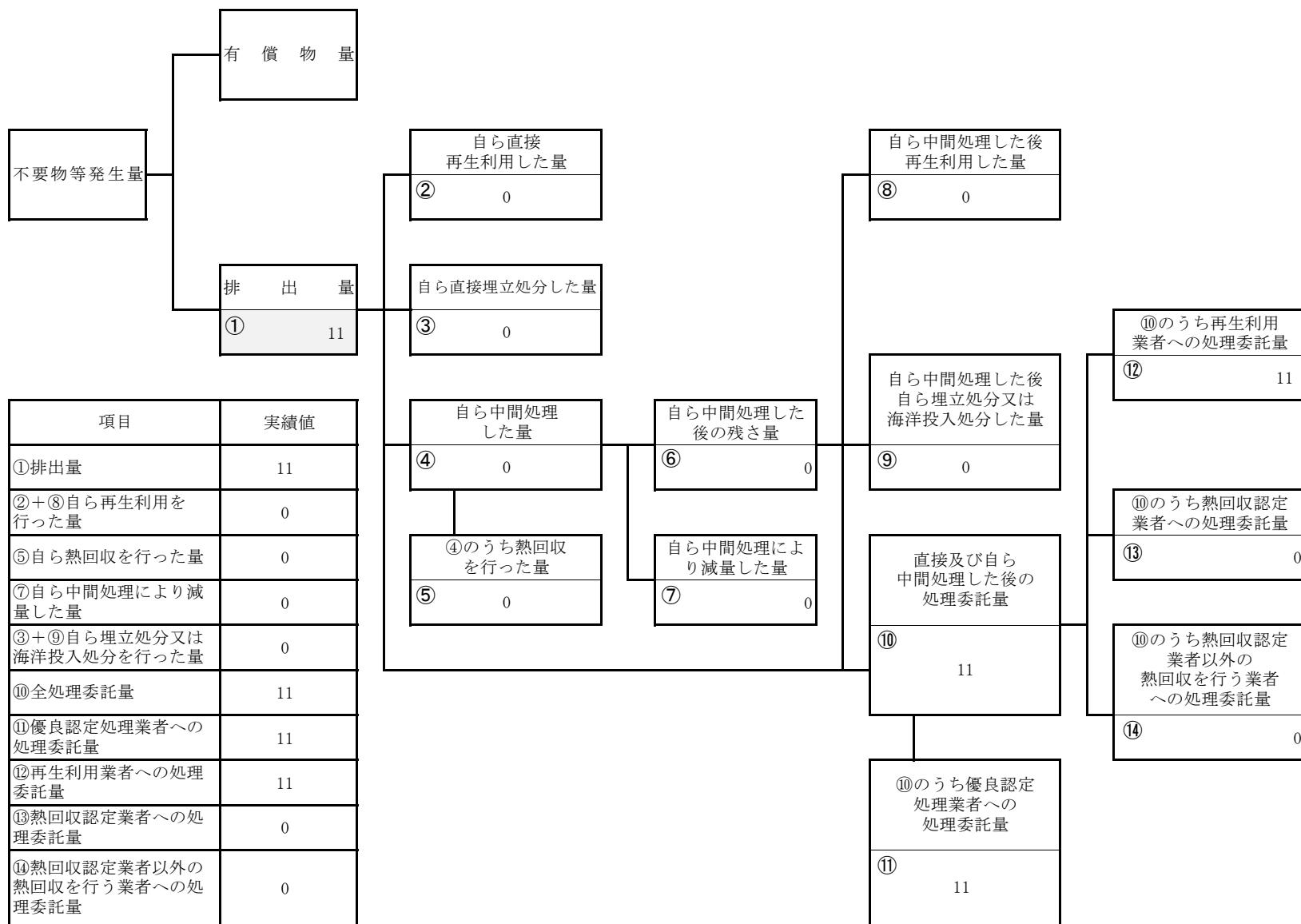
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃プラスチック：コンテナパック、樹脂パレット)



計画の実施状況

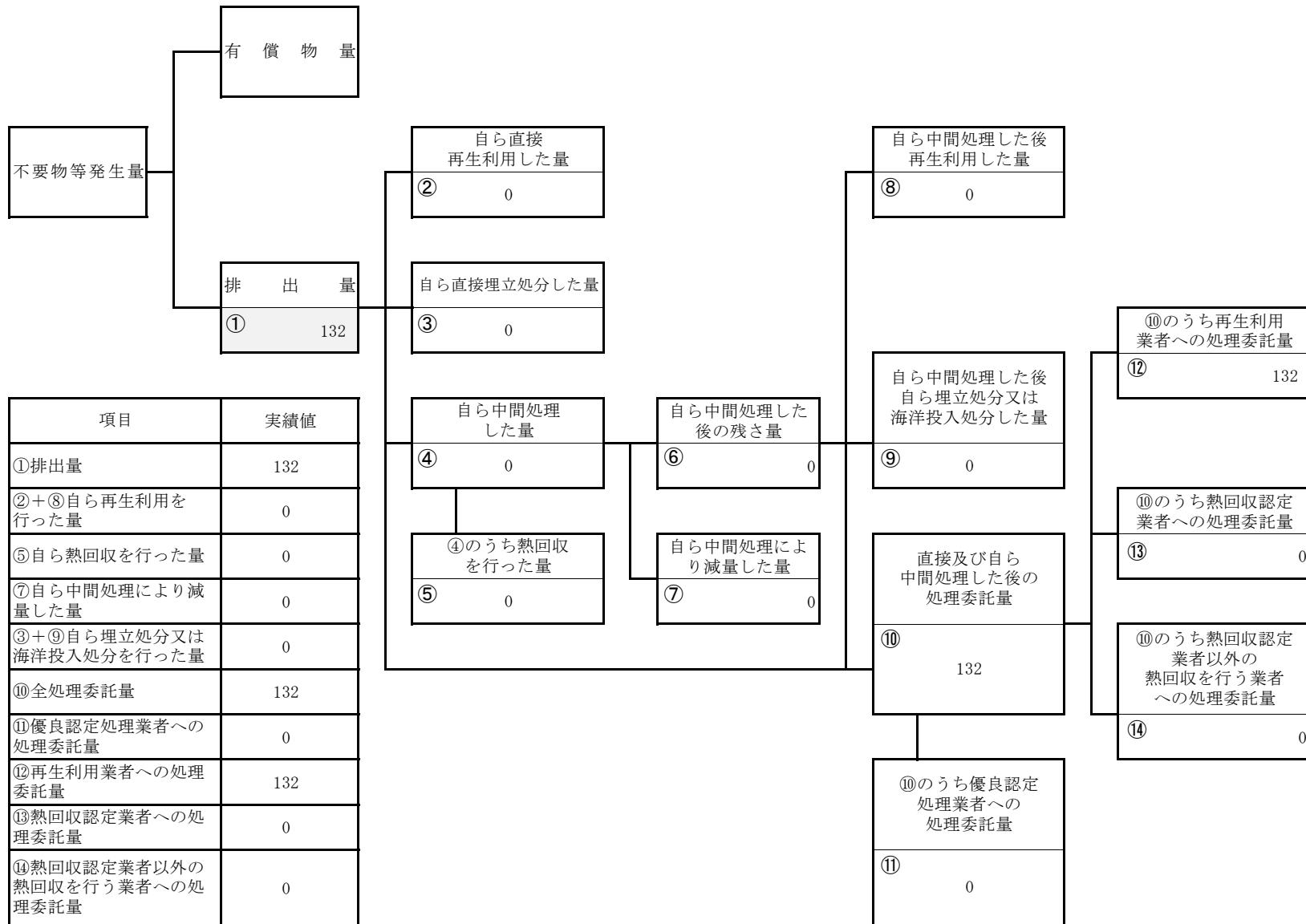
(産業廃棄物の種類：木くず：パレット、木枠)



(第2面)

計画の実施状況

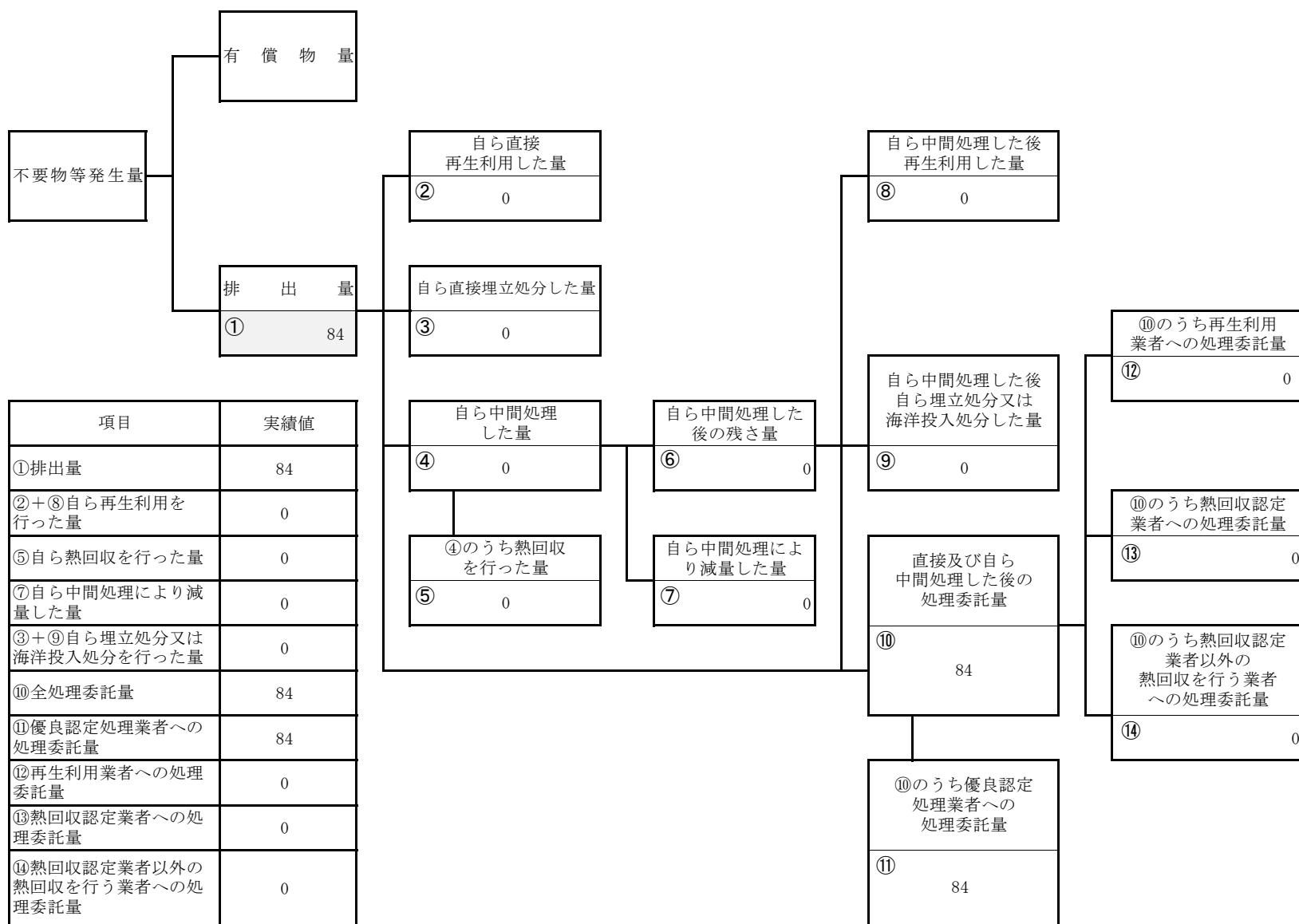
(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)



(第2面)

計画の実施状況

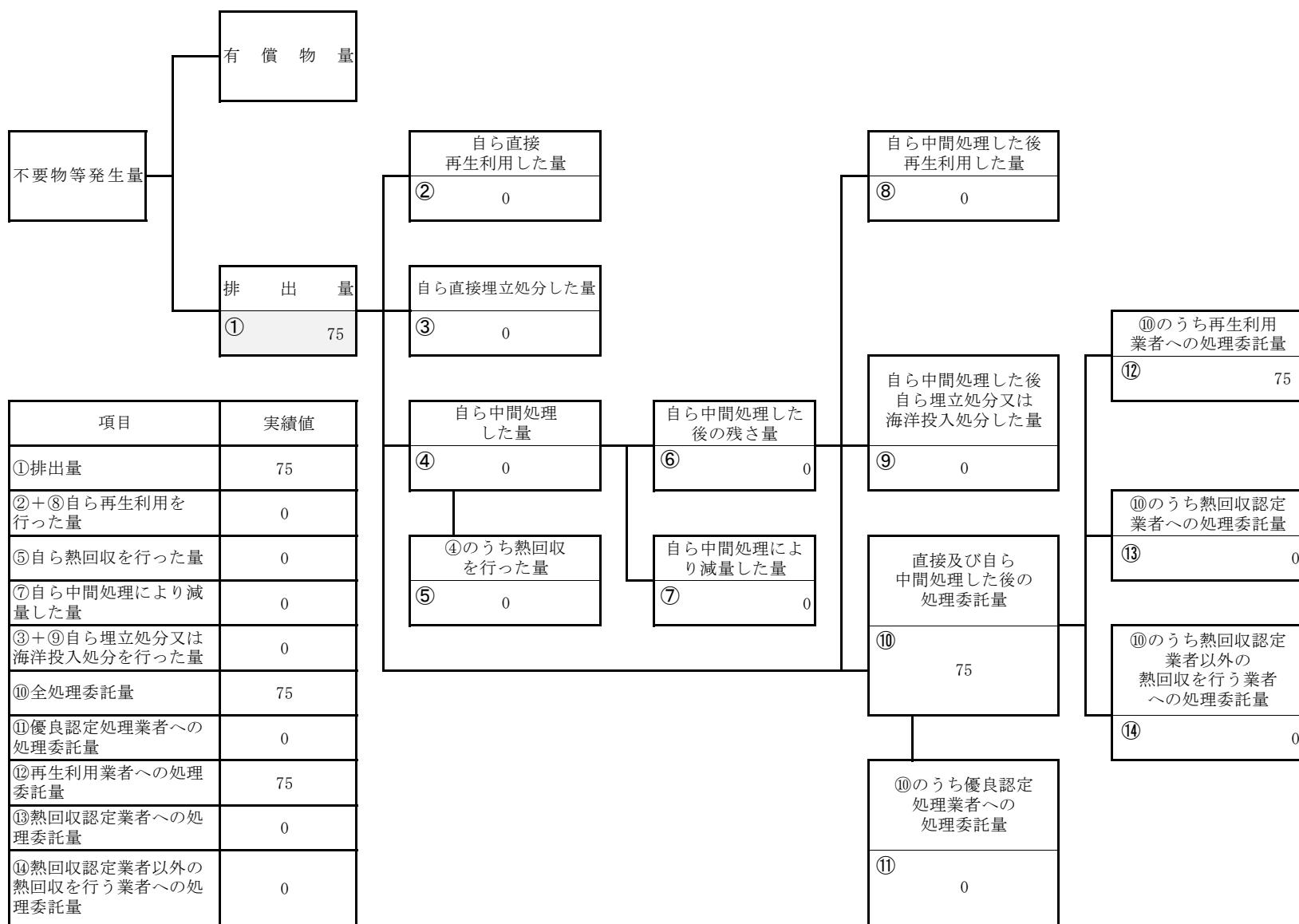
(産業廃棄物の種類：廃プラスチック：フィルター、圧縮袋)



(第2面)

計画の実施状況

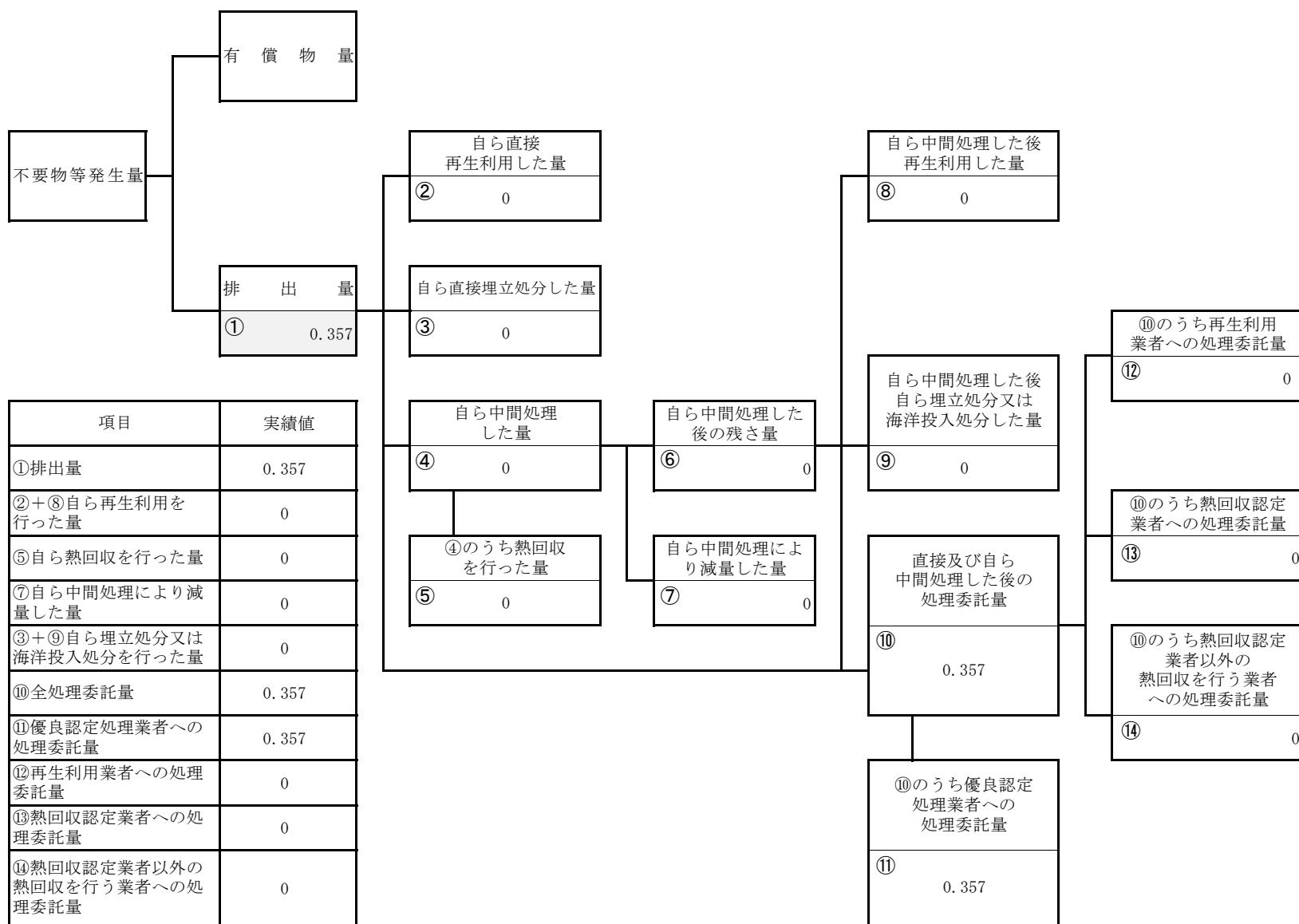
(産業廃棄物の種類：汚泥：酵素)



(第2面)

計画の実施状況

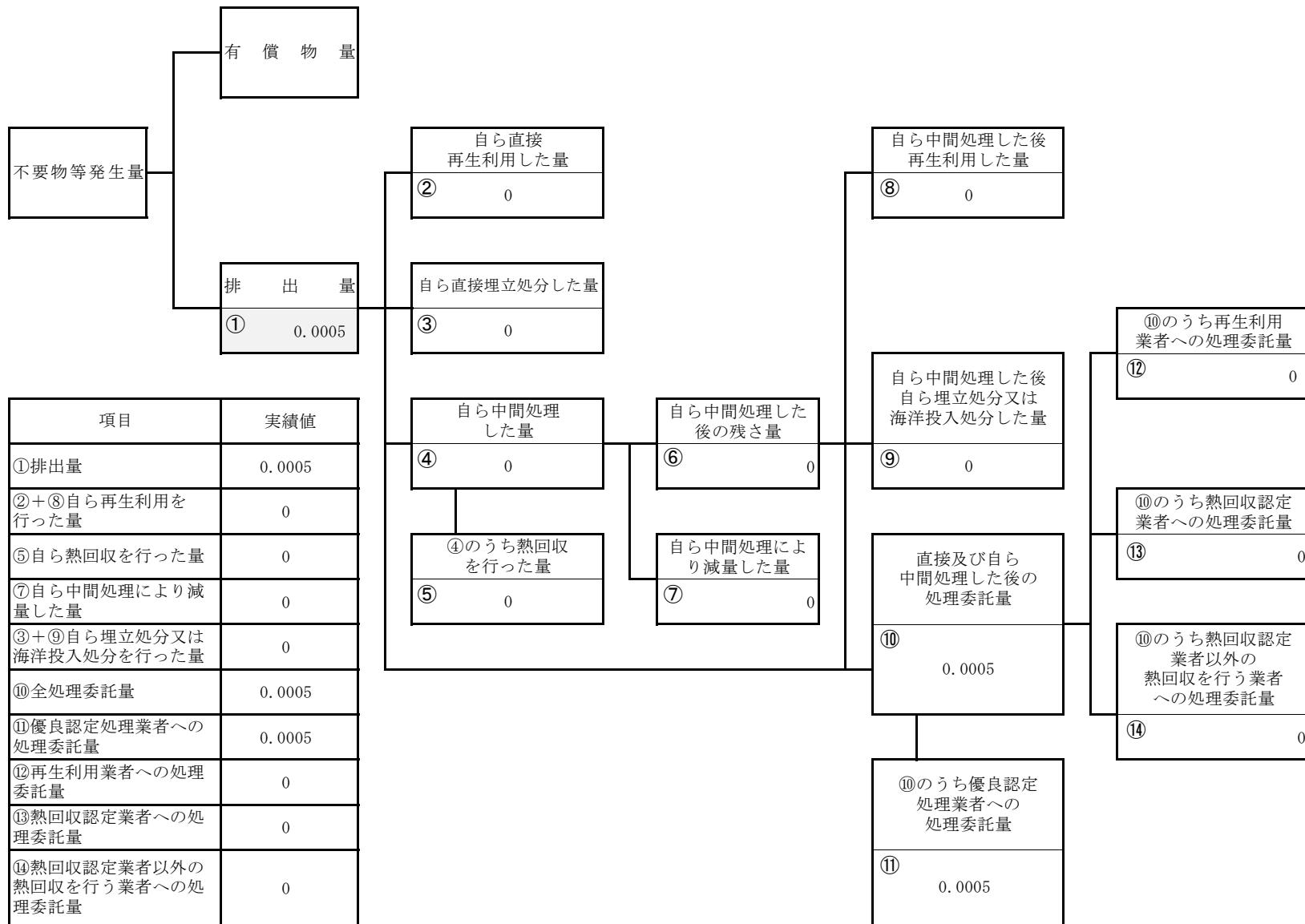
(産業廃棄物の種類：混合物（水銀使用製品）：陶磁器類（蛍光灯等）)



(第2面)

計画の実施状況

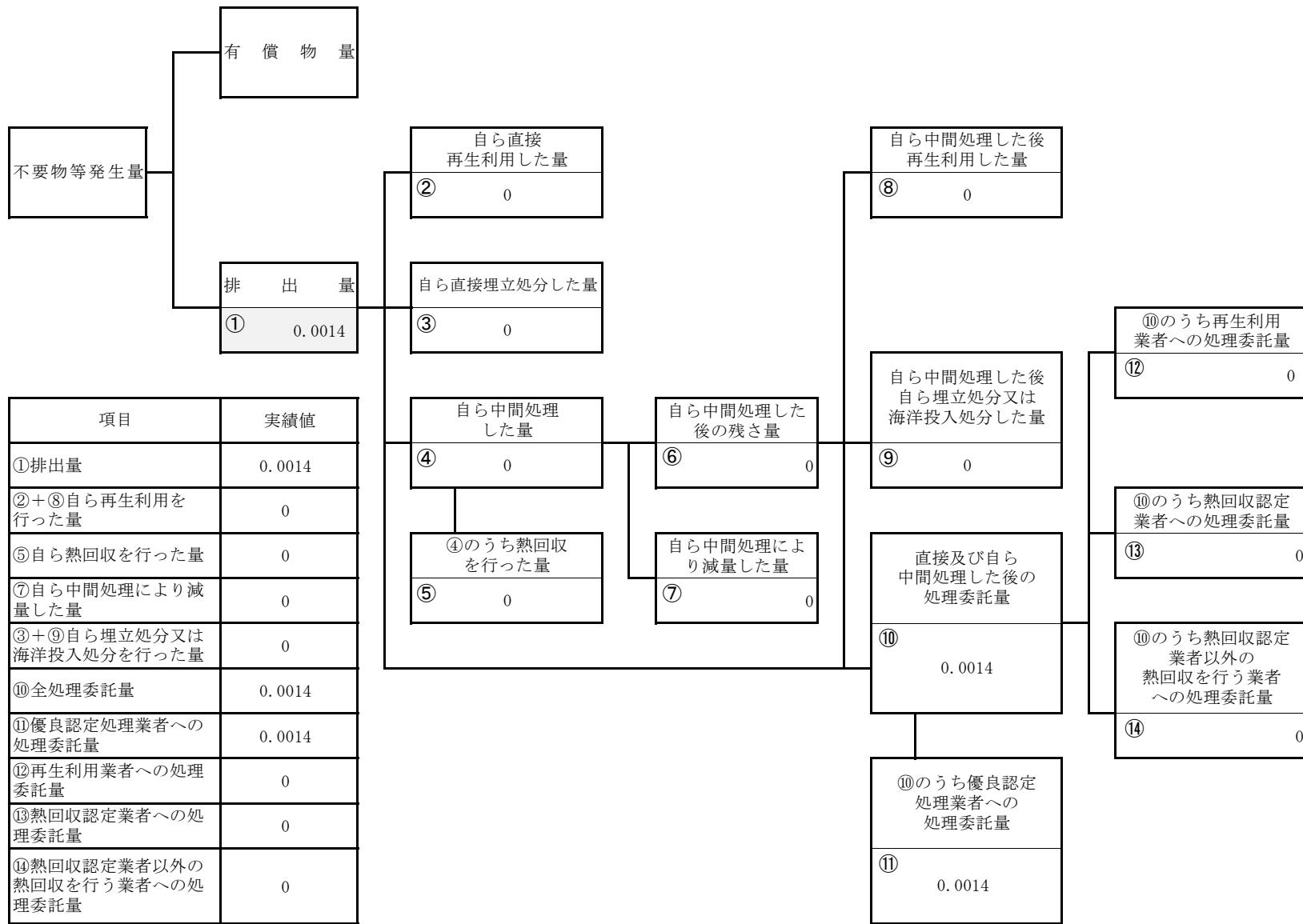
(産業廃棄物の種類: 強アルカリ (無機アルカリ))



(第2面)

計画の実施状況

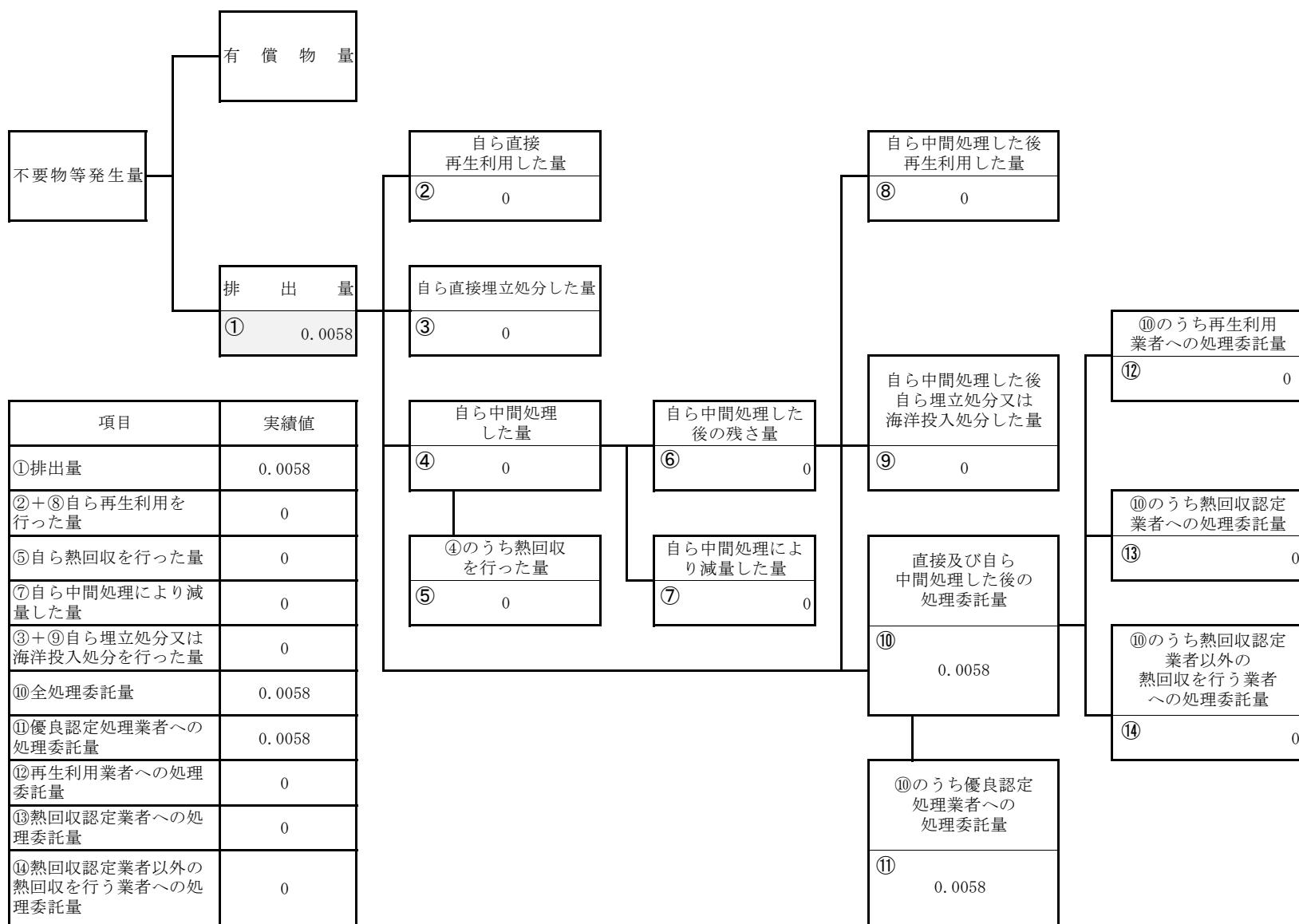
(産業廃棄物の種類: 廃酸 (有害) 有害重金属液)



(第2面)

計画の実施状況

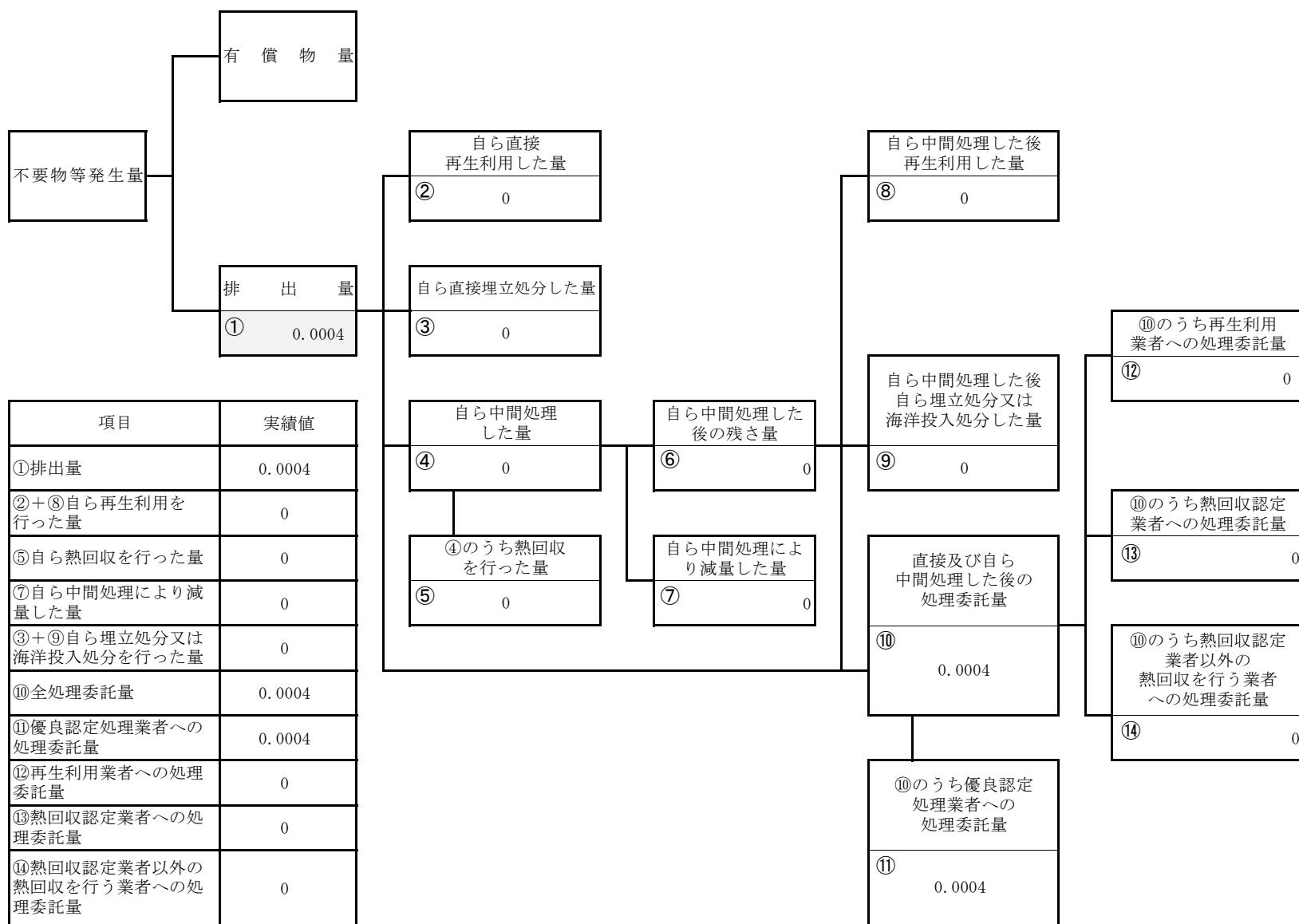
(産業廃棄物の種類：引火性廃油：引火性廃油)



(第2面)

計画の実施状況

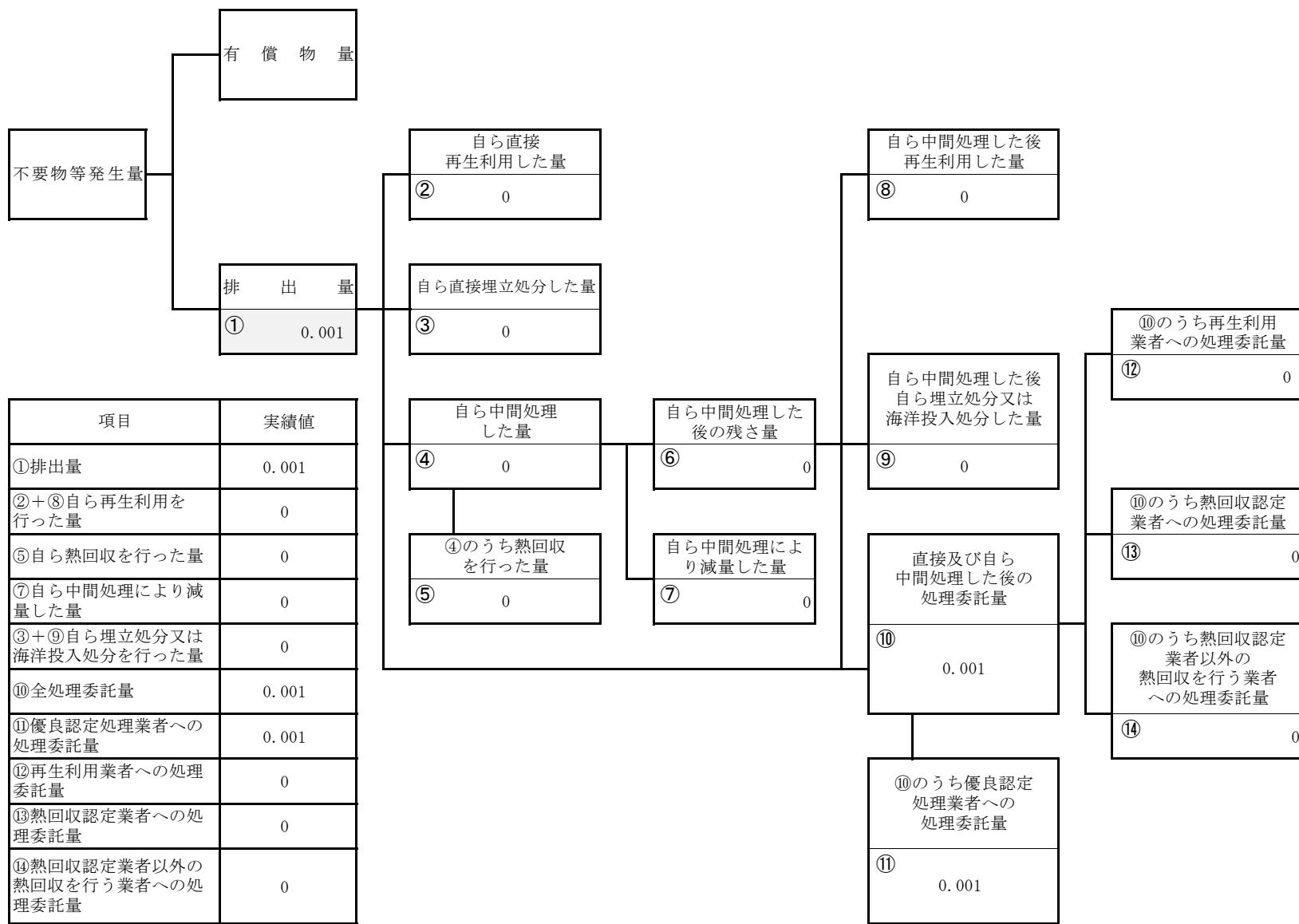
(産業廃棄物の種類：汚泥 取扱注意（禁水性等）)



(第2面)

計画の実施状況

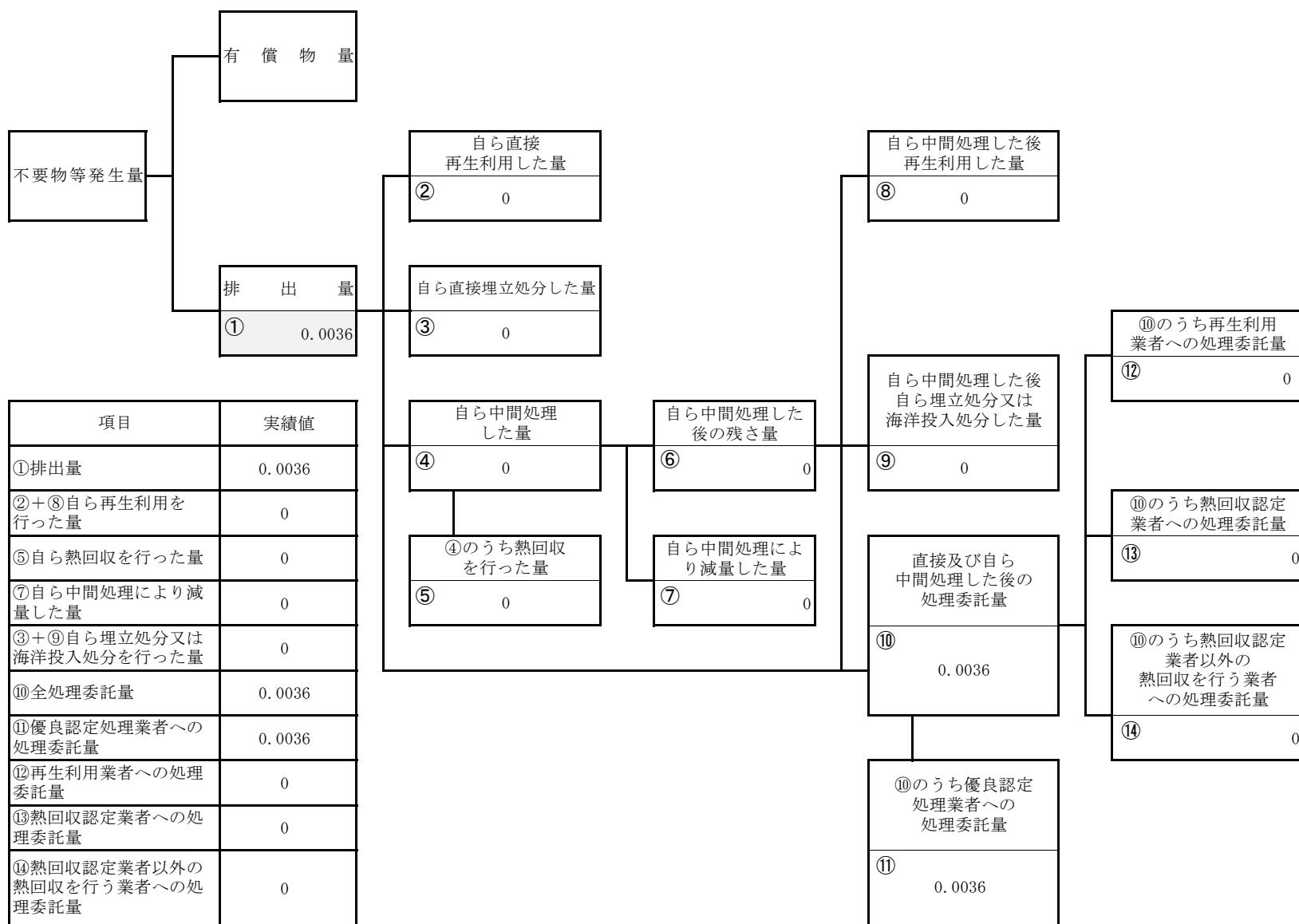
(産業廃棄物の種類: 金属くず (不溶性金属類))



(第2面)

計画の実施状況

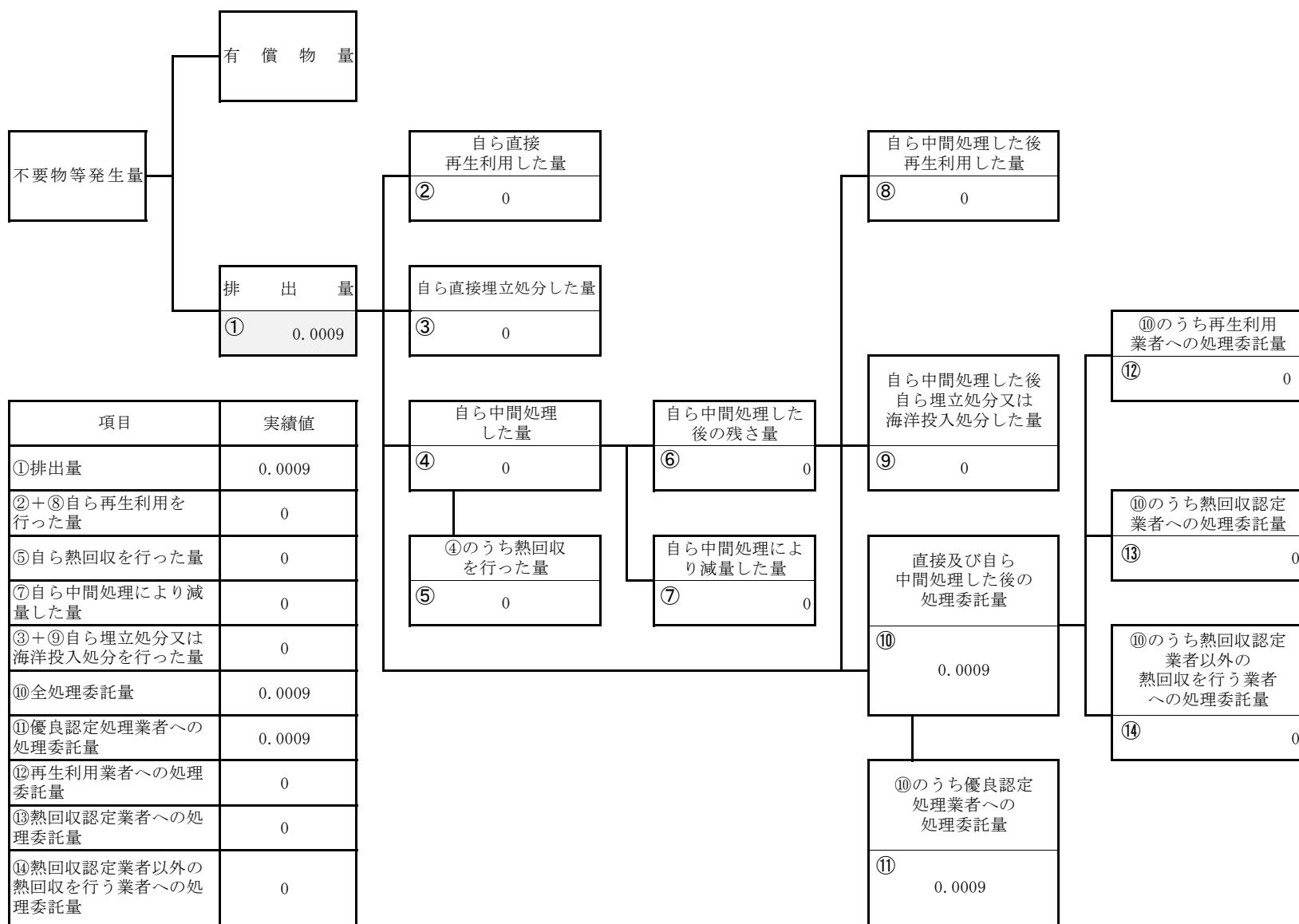
(産業廃棄物の種類：廃油（有機化合物類（廃油））)



(第2面)

計画の実施状況

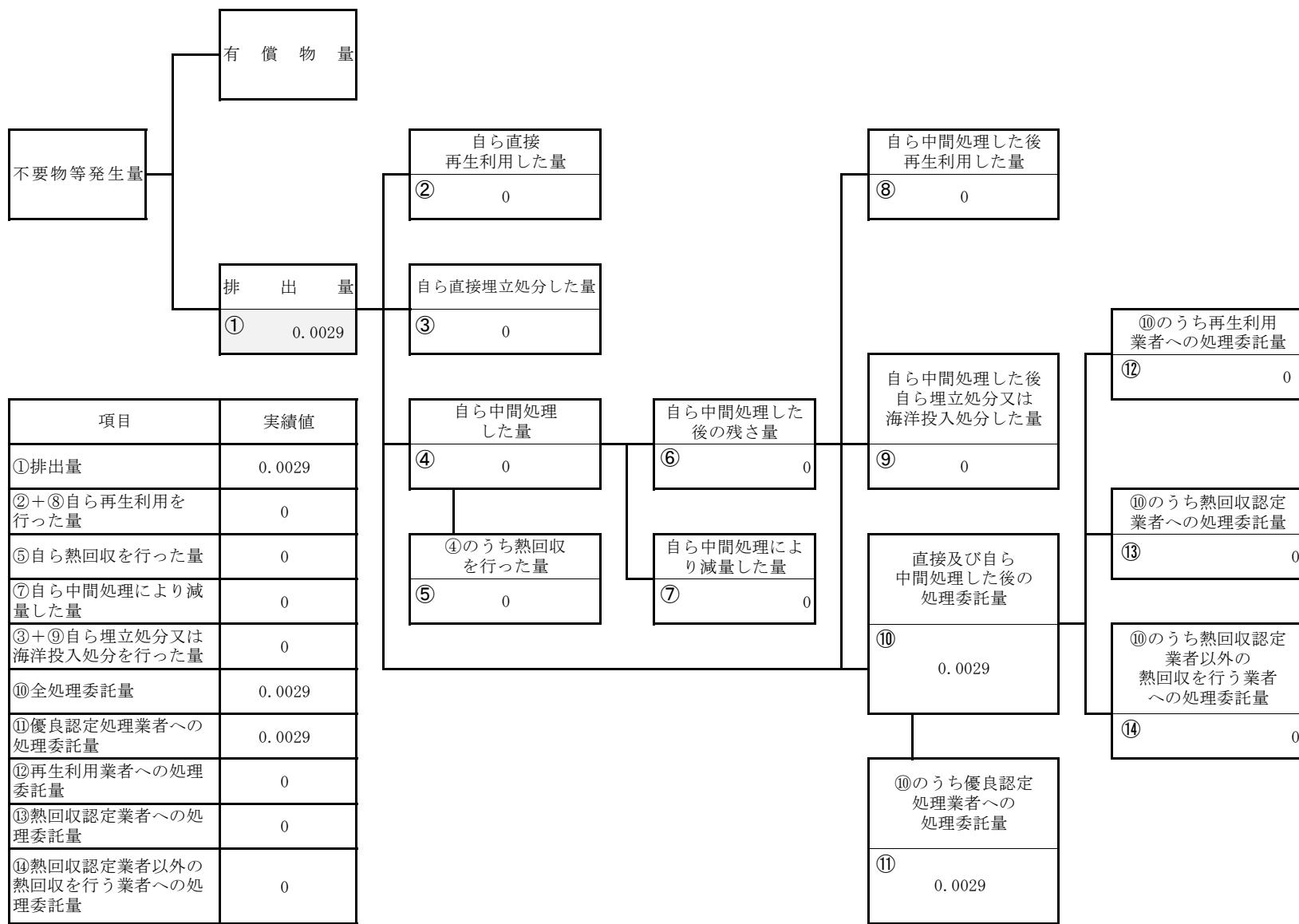
(産業廃棄物の種類：汚泥（有機化合物類）)



(第2面)

計画の実施状況

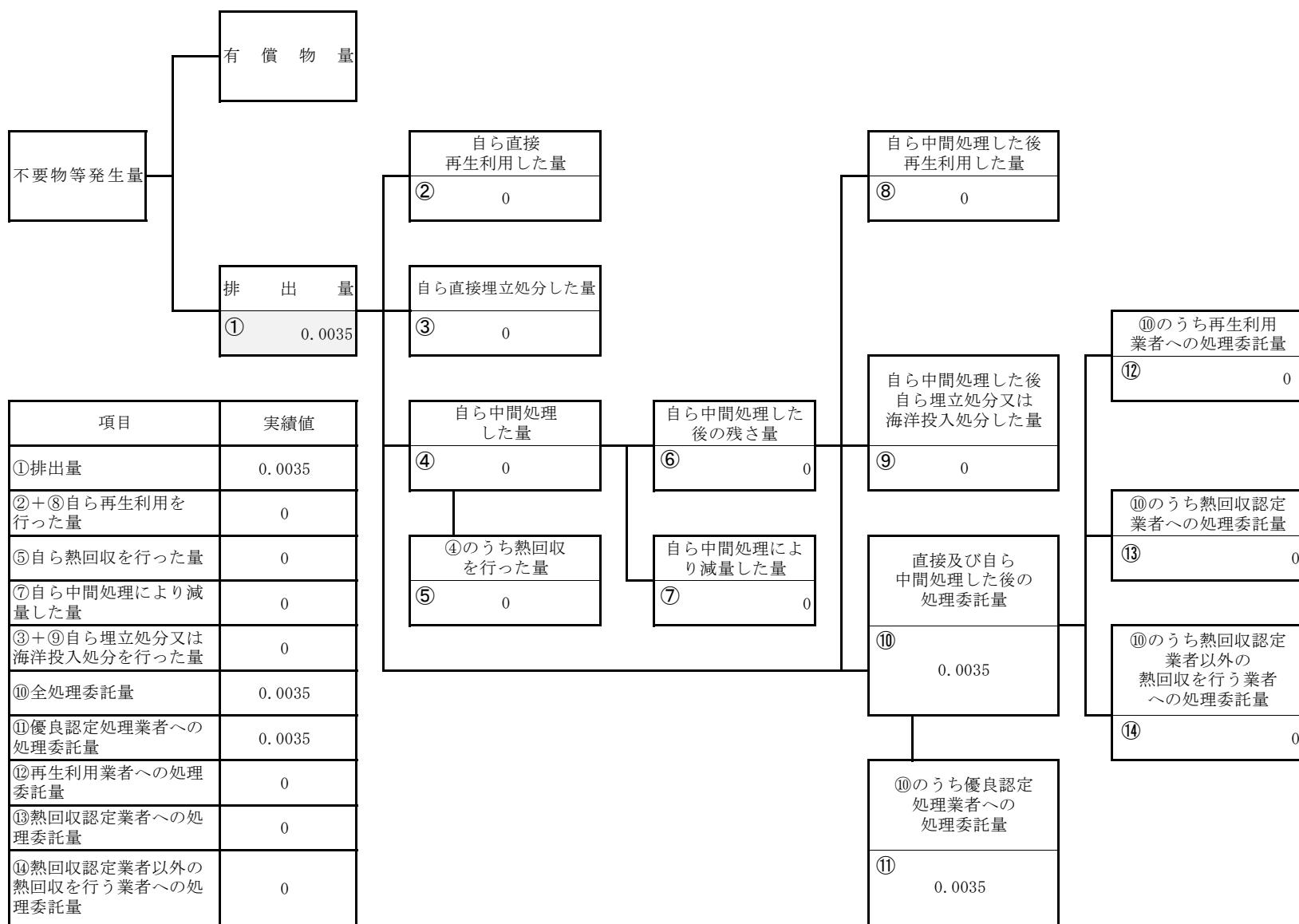
(産業廃棄物の種類:汚泥 (無機化合物類))



(第2面)

計画の実施状況

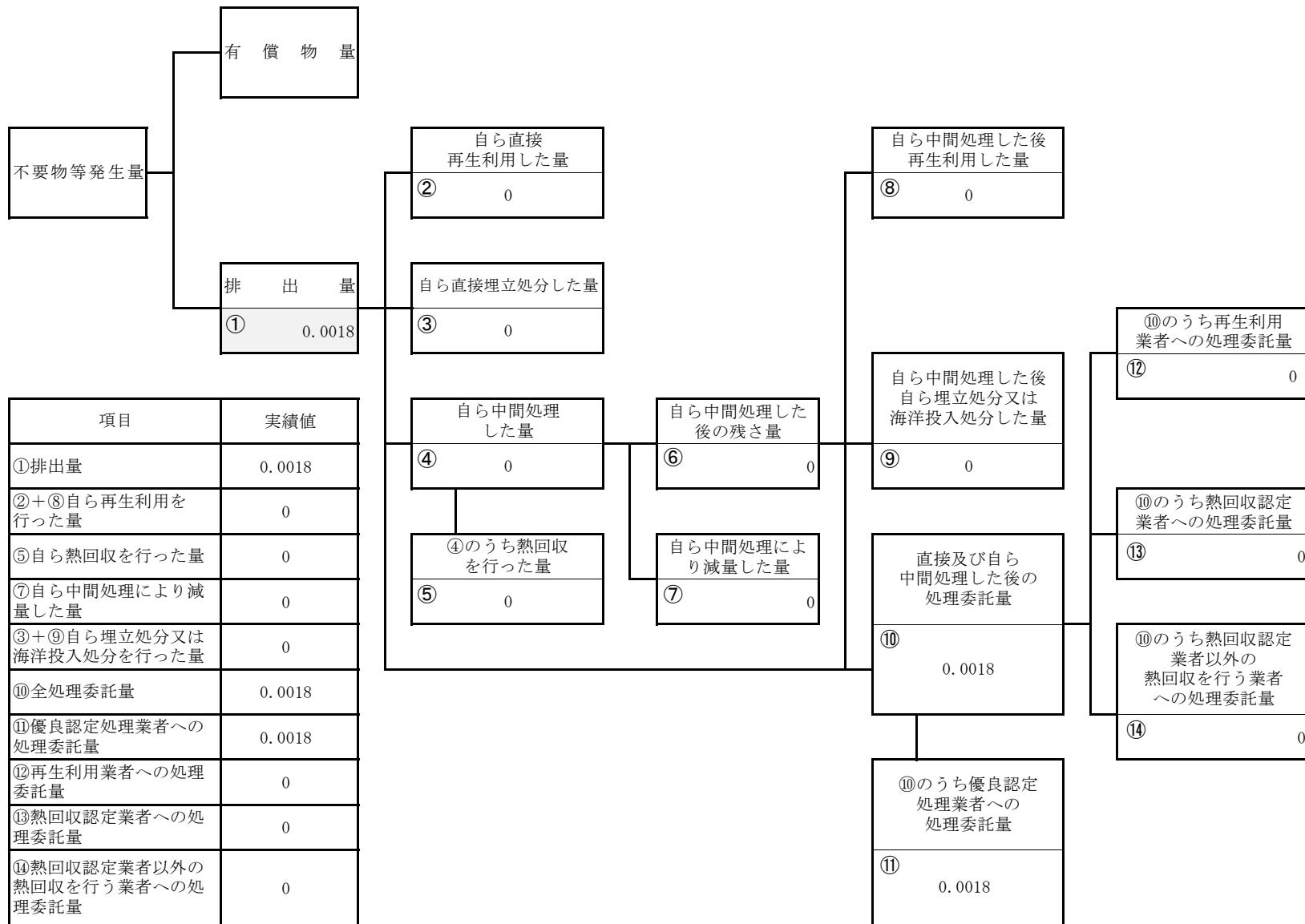
(産業廃棄物の種類：引火性廃油：有機溶剤)



(第2面)

計画の実施状況

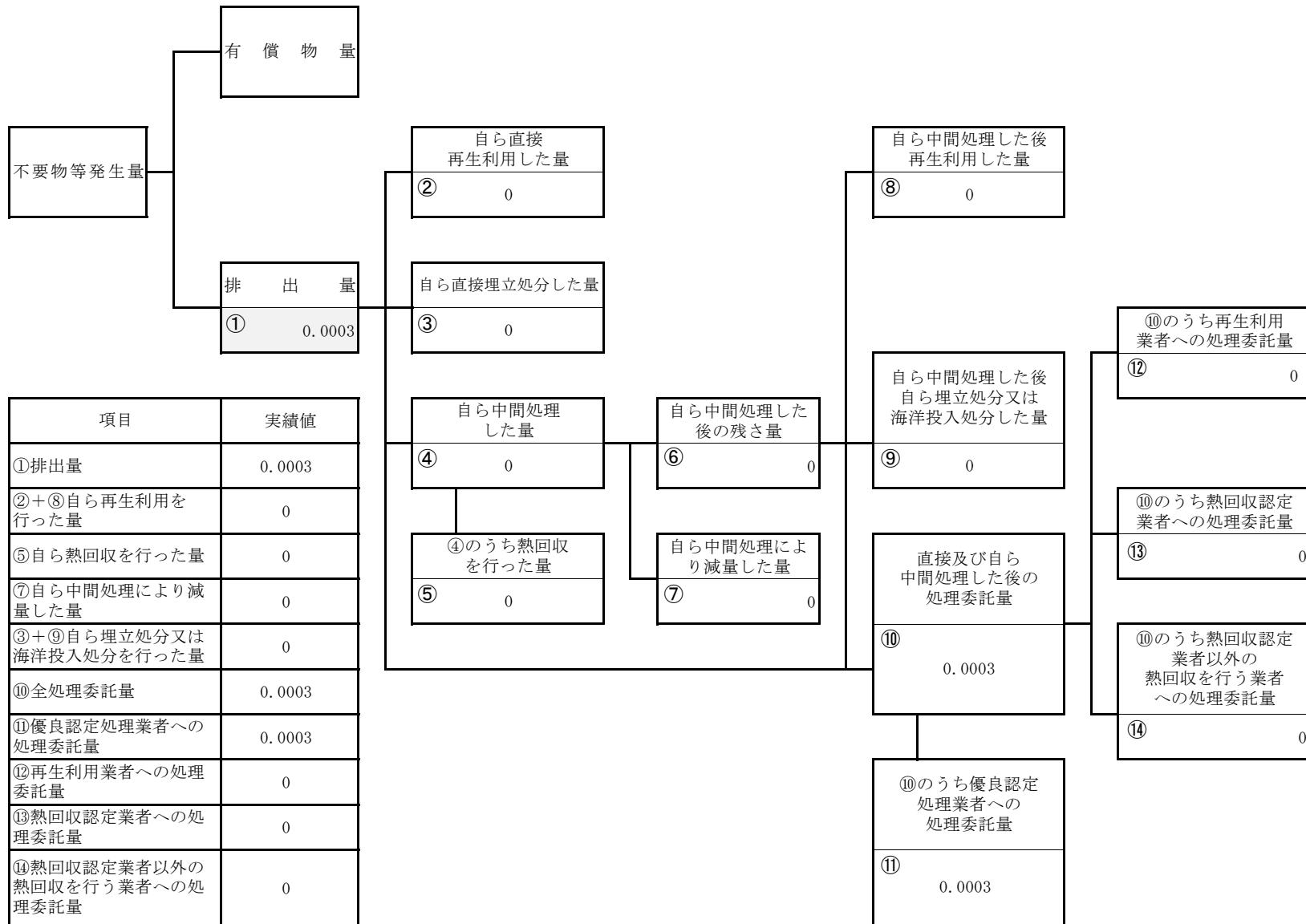
(産業廃棄物の種類：廃油（ハロゲン系有機物（廃油））)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥（無機化合物）)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。